



「ふるさとを愛し、
生きていく力を育む萩っ子」の育成を目指します

一人一人への思いやり

校長 河村 康郎

先日紹介させていただいた総合公園のゴミ拾い、具合の悪い地域の方をお宅まで送り届けた善行に対して、日高市教育委員会中村教育長より4人の生徒が善行表彰を受けました。おめでとうございます。(以降、令和6年7月19日1学期終業式校長のことばより抜粋)

皆さんの行動は、見ていた人、助けてもらった人、その話を聞いた人をととても幸せな気持ちにしてくれました。感謝の気持ちを伝えたいと思います。ありがとうございます。

思いやりと言えば、昨年度の3年生と面接練習をしたときのことです。「高萩中の自慢できるところはどこですか？」と質問すると、「バリアフリーが充実しているところです。」と答えてくれました。「なぜ？そう思うのですか」と続けると、「生徒一人一人を大切にしてくれている学校だなと思うからです。」と返事が返ってきました。その答を聞いたとき、とても思いやりがある生徒だなと、とても嬉しく思いました。

萩中生の皆さんはとても大事にされています。皆さんに配られたイヤホンを見ましたか。一人一人の名前が印刷されたテプラが貼ってありましたよね。PTA本部役員の皆さんが一人一人に作成してくれたものです。どんな気持ちで作成し、貼ってくれたのか、想像してみてください。その気持ちを想像できたら、イヤホンの活用方法はわかると思います。皆さんなら正しい使い方ができると信じて配布しました。その気持ちをわかってください。

少し話題は変わりますが、皆さんは、学校、電車の中、その他の場面で、周りの人の着ている服の柔軟剤や香水の香りで、具合が悪くなったり、気分が悪くなったりしたことはありませんか。その香りに身体が過敏に反応して、体調を崩す人もいます。私たちも、知らず知らずのうちに周りの人を困らせているかもしれません。そのことを知ること、少しでも配慮することができたら、思いやりのある行動につながるのではないのでしょうか。

最後に、校則の見直しについてです。2023年に「こども家庭庁」が発足し、こども基本法、こども大綱ができました。大人の考えを押し付けるのではなく、こどもと大人が対話して、一緒に考えていくことを目指しています。生徒の皆さん、保護者の方々、学校の先生たち、地域の方々の意見を聞きながら、生徒の皆さんが安心・安全に生活するためによりよいルールを対話しながら創っていきましょう。

☆保護者の皆様へ

1学期間、お世話になりました。学校として至らない点多々あったと思いますが、ご理解・ご協力いただいたことに感謝申し上げます。後日、校則についてのアンケートをLEBER(リーバー)にて、配信いたしますので、ご協力をお願いいたします。

